

令和7年度 喜久田中学校便り

朝日輝く丘の上



第21号

発行日：令和7年9月5日

文責：校長 物井 隆

連絡先：959-2204



郡山市中学校駅伝大会 走った・つないだ・やり切った

9月4日（木）、郡山市東山霊園周回コースにおいて郡山市中学校駅伝大会が行われました。本校の生徒たちも大会に参加し、入賞はなりませんでした。全力で走り、みんなで襷をつなぎ、持てる力を十分発揮しました。朝の練習、暑い夏休みの練習、全員が団結し、辛く厳しい練習をやり切って、大会に参加しました。私は目標を立てて、それに向かって努力していくこと、つまりやり切ることが一番大事なことだと考えます。練習をやり切り、自己ベストを目指して頑張った選手の皆さん、お疲れさまでした。大会後、みんなで撮った写真の笑顔、たいへんステキです。



心ひとつにみんなで襷を！



唯一の3年生、野内翔太郎くんの走りです。男子6区つまりアンカーとして激走しました。走り終えた後、駅伝部の仲間が彼を胴上げし、やり切ったことを称えました。やり切った翔太郎くん、たいへん立派です。

男子駅伝部メンバー	女子駅伝部メンバー
1区 安齋 蒼空 (2年)	1区 荒川 優愛 (2年)
2区 齋藤 晴太 (2年)	2区 國分 友歌 (2年)
3区 橋本 大和 (2年)	3区 渡辺 結衣 (2年)
4区 近藤 大知 (2年)	4区 遠藤 真渚 (1年)
5区 渡邊 棕介 (2年)	5区 佐藤 珠璃 (2年)
6区 野内翔太郎 (3年)	大和田結心 (2年)
遠藤 航稀 (2年)	
遠藤 怜夢 (2年)	
吉田 有寿 (1年)	

「成功するとか失敗するとか僕には関係ない。それをやってみる事の方が大事」

大谷 翔平

- ・日本ハムファイターズ時代、MLBに挑戦したかった大谷選手に栗山監督が「俺に説明してくれ。なんでアメリカに行かなきゃいけないんだ」と問われたときに大谷選手がした回答。

やると決め、それをやり切ることがこれからの社会を築く若者に必要な力です。



いじめ防止出前教室

本日、1年生は、うねめ法律事務所の濱津 真紀子 様においでいただき、授業をしていただきました。今回はいじめについて具体的にお話をさせていただきました。授業では、ドラえもんキャラクターになりきって、いじめる立場、いじめられる立場、いじめを見ている立場の気持ちを考え、どのように行動・発言すればよいのかを考えました。そしていじめは絶対に許されないものであるということを心に刻むことができました。